



自分デザイン

校長 海老澤 孝代

『一致団結 絆を深め アツい思いで 盛り上げれ!!』の運動会スローガンに向かい、白・緑・黄色三色での活動の充実やペア学年での団体競技を取り入れるなど、実行委員会を中心として児童の思いや願いを活かした児童が創り上げる運動会を目指し取り組みました。高学年の係活動や応援団・音楽隊での活躍、異学年との関わり、そして演技や競技での力いっぱい頑張る姿を多くの方に見ていただくことができました。滞りなく運動会が進行したのも皆様のご理解とご協力があったことです。本当にありがとうございました。

6年生の「自分づくりパスポート」の振り返りを紹介します。

運動会実行委員になって、競技を通して学校全体を盛り上げるためにあると改めて実感し、それを盛り上げるのが6年生の役目としっかり知ることができました。だから中学では6年で知ったことを活かしていきたいです。

飛翔で足を上げるところと手で立つところをやった時に、自然に拍手が起きて、先生も拍手していて、きれいにそろったのかなと団結できたと思えた。

最高学年になって、自分だけでなく縦割り班のみんなやペアの1年生の様子も見て、みんな楽しめるように応援合戦では声を出したり一緒に盛り上がった。以前よりも成長することができたと感じて心に残りました。

運動会実行委員を去年からやっているけれど、去年もそうだったしそれ以上に今年は企画したことが実現していて、とてもうれしかった。それだけじゃなくて、もちろん実行委員だけでなく、学校全体で運動会をつくれて、今までで一番いい運動会になったなと思っている。

応援団としていつもの練習よりも大きな声で応援し、みんなを盛り上げることができました。そして、ほかの子たちとも協力し、仲を深めることができました。だから運動会のスローガンも達成できたと思います。負けても落ち込まずにそこまで悔しくなかったのは、何事も全力でやり切り楽しめたからだと思います。

大きな声で精いっぱい応援できたので、応援は1位だったなと思います。1年の時と6年の時の運動会は全然違うなど実感しました。1年の時は「わーい。楽しい。」だけでよかったです。しかし今年は1年生の面倒を見ながら縦割り班をまとめなければいけないし、それには責任をもたなければいけない。そのことを実感したのが心に残りました。

『自分デザイン』という言葉があります。子ども自身が自分の人生を主体的にデザインするという意味で、教育課程全体で育成を目指している資質能力『自分づくりに関する力』に関連しているなと思います。よい人たちに囲まれて人間関係を上手につくり幸せを感じることができると、自分を認め、周りとの関わりにも目を向けることができるようになります。この運動会の取組で子どもたちは様々な関わりの中で、目標をもち主体的に取り組み、自分をよりよくしていくために考え工夫し、乗り越えていったのではないかと思います。私は子どもたちの熱いエネルギーを感じました。ここで身に付けた力を卒業に、そして新学年に向け、発揮して行ってほしいです。